

第2章 調査結果の分析

1 水道水の節水状況

問1 あなたの事業所では、日ごろ節水を心がけていますか。(〇は1つだけ)

- 1 節水のことは考えずに使っている
- 2 節水は必要と思いつつも、実行はしていない
- 3 ある程度節水しながら使っている
- 4 まめに節水して使っている

(問1で「3 ある程度節水しながら使っている」または「4 まめに節水して使っている」と回答された事業所にお聞きします。)

[問1-1] 次のうち現在取り組んでいる節水対策はありますか。また、その時期はいつごろですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------------------------|---|----|
| 1 節水型設備の導入(業務用の機械など) | 年 | 月頃 |
| 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの) | 年 | 月頃 |
| 3 水の循環利用 | 年 | 月頃 |
| 4 地下水・雨水の利用 | 年 | 月頃 |
| 5 使用量の管理 | 年 | 月頃 |
| 6 従業員への啓発 | 年 | 月頃 |
| 7 その他() | 年 | 月頃 |

[問1-2] 節水するための水道使用量の目標値はありますか。(〇は1つだけ)

- 1 前年度に比べて5%程度の節水
- 2 前年度に比べて10%程度の節水
- 3 前年度に比べて15%程度の節水
- 4 前年度に比べて20%を超える節水
- 5 その他()
- 6 目標値はない

(問1-2で「1~5」と回答された事業所にお聞きします。)

【問1-3】 節水をしたことにより、節水目標はどのくらい達成できましたか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------|
| 1 ほぼ達成できた |
| 2 半分くらい達成できた |
| 3 あまり達成できなかった |
| 4 わからない |

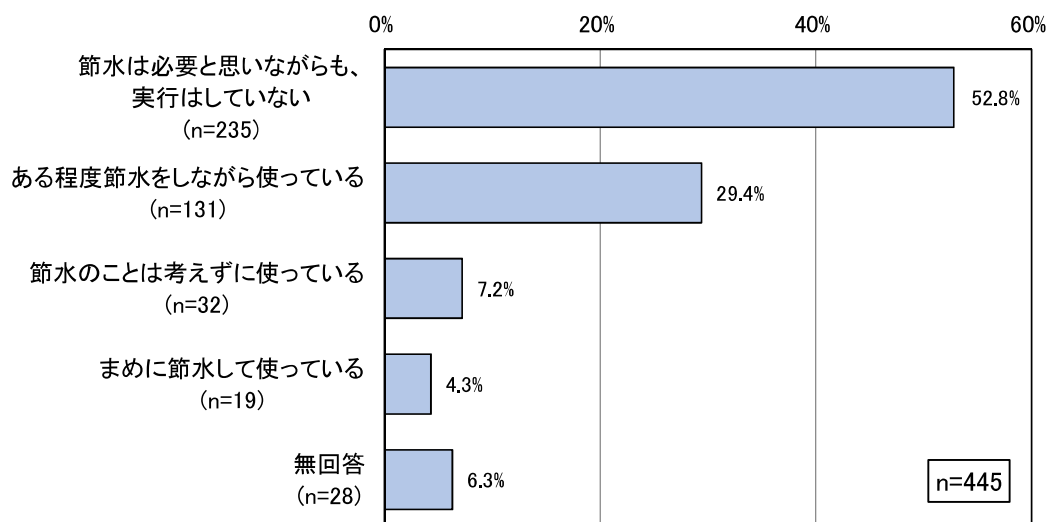
問2 次のうち、今後取り組みたいと思っている節水対策はありますか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1 節水型設備の導入(業務用の機械など) |
| 2 節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの) |
| 3 水の循環利用 |
| 4 地下水・雨水の利用 |
| 5 使用量の管理 |
| 6 従業員への啓発 |
| 7 その他() |
| 8 ない |

問3 水道水の他に利用している水はありますか。また、水道水およびそれぞれの水は、どのような用途にお使いですか。(○はいくつでも)

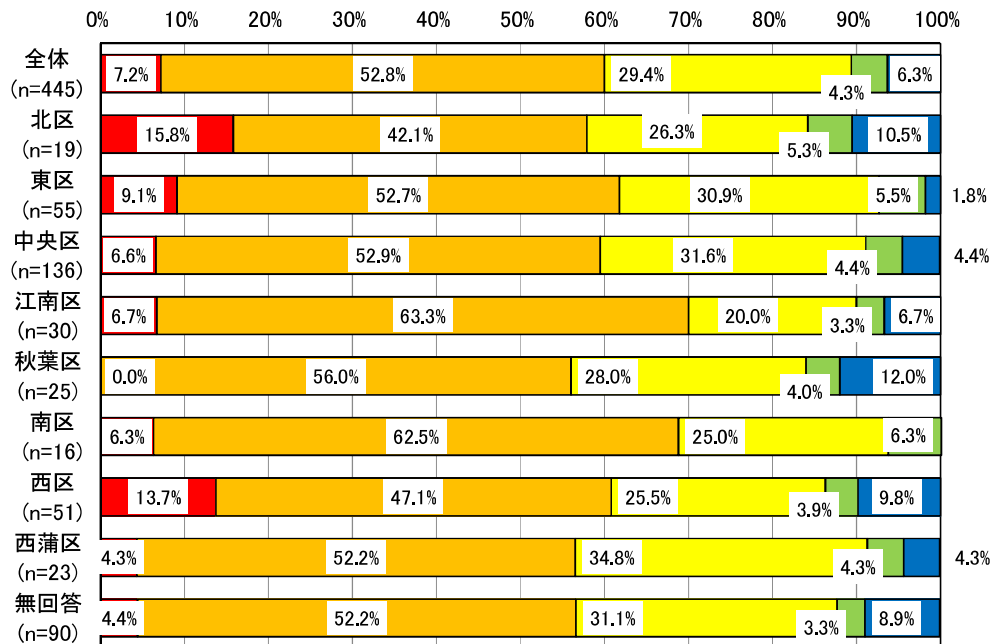
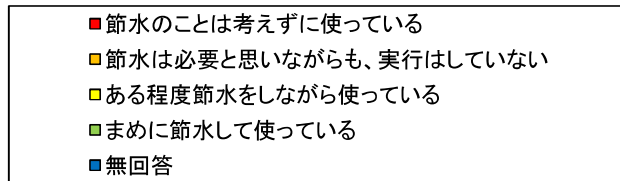
| 利用用途 利用している 水の種類 | A. 飲用 | B. 飲用以外 の生活用水 (トイレ等) | C. 商品の 製造・加工、 サービスの 提供などの 業務用 | D. 空調等 の設備用 | E. その他 () |
|------------------------|-------|----------------------------|---|----------------|---------------|
| 1 水道水 | | | | | |
| 2 雨水 | | | | | |
| 3 地下水(井戸水) | | | | | |
| 4 工業用水 | | | | | |
| 5 その他 () ※循環利用等 | | | | | |

問1 水道水の利用について



普段の水の使い方については、「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」(52.8%)が最も高く、次いで「ある程度節水をしながら使っている」(29.4%)、「節水のことは考えずに使っている」(7.2%)の順となっている。「まめに節水して使っている」は4.3%であった。

全体をみると、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」が合わせて33.7%と3割強になっている。

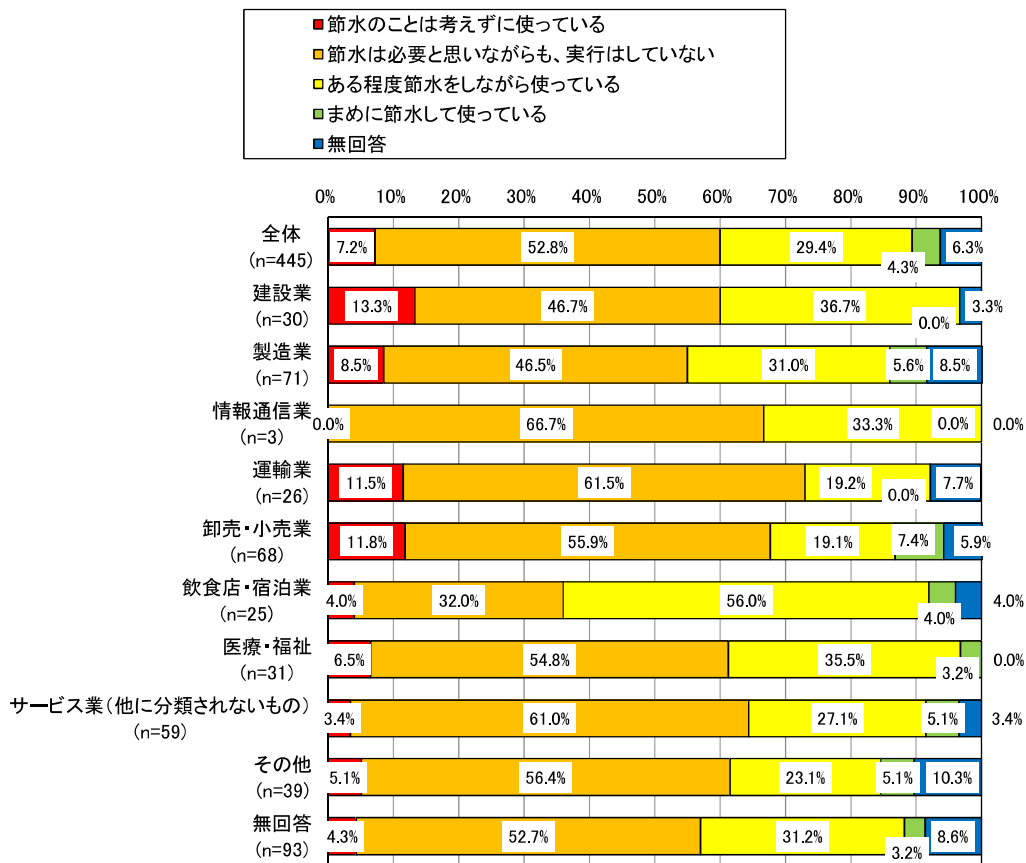


所在区別で見ると、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」を合わせて高い順にみると、

- 1) 西蒲区が39.1%
 - 2) 東区が36.4%
 - 3) 中央区が36.0%
- となっている。

逆に「節水のことは考えずに使っている」と「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」を合わせて高い順にみると、

- 1) 江南区が70.0%
 - 2) 南区が68.8%
 - 3) 東区が61.8%
- となっている。

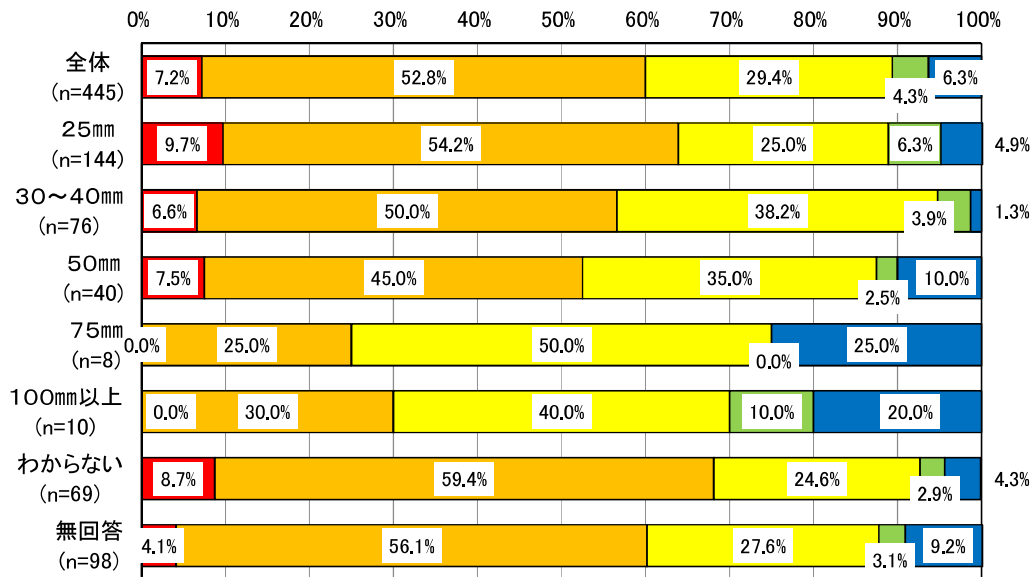
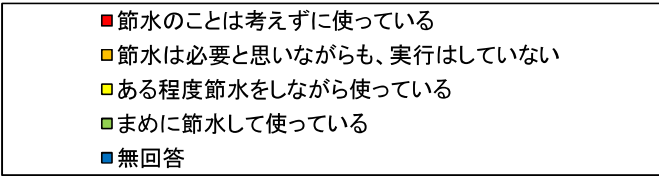


業種別に、「まめに節水して使っている」と「ある程度節水をしながら使っている」を合わせて高い順にみると、

- 1) 飲食店、宿泊業が60.0%
 - 2) 医療・福祉が38.7%
 - 3) 建設業で36.7%
- となっている。

逆に「節水のことは考えずに使っている」と「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」を合わせて高い順にみると、

- 1) 運輸業が73.0%
 - 2) 卸売・小売業が67.7%
 - 3) 情報通信業が66.7%
- となっている。



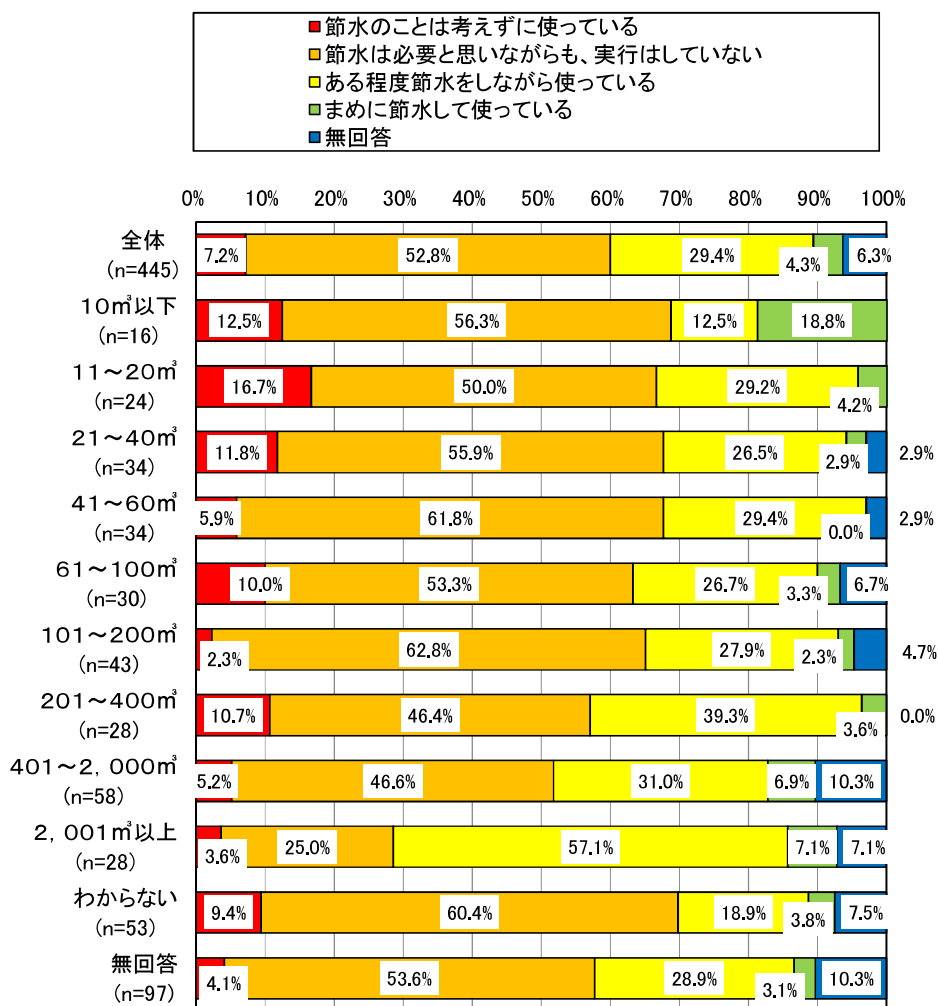
水道メーター口径別に各回答選択肢のピークをみると、

「節水のことは考えずに使っている」・・・水道メーター口径は25mmで9.7%

「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」・・・わからないで59.4%

「ある程度節水をしながら使っている」・・・同75mmで50.0%

「まめに節水して使っている」・・・同100mm以上で10.0%となっている。



使用水量別に各回答選択肢のピークをみると、

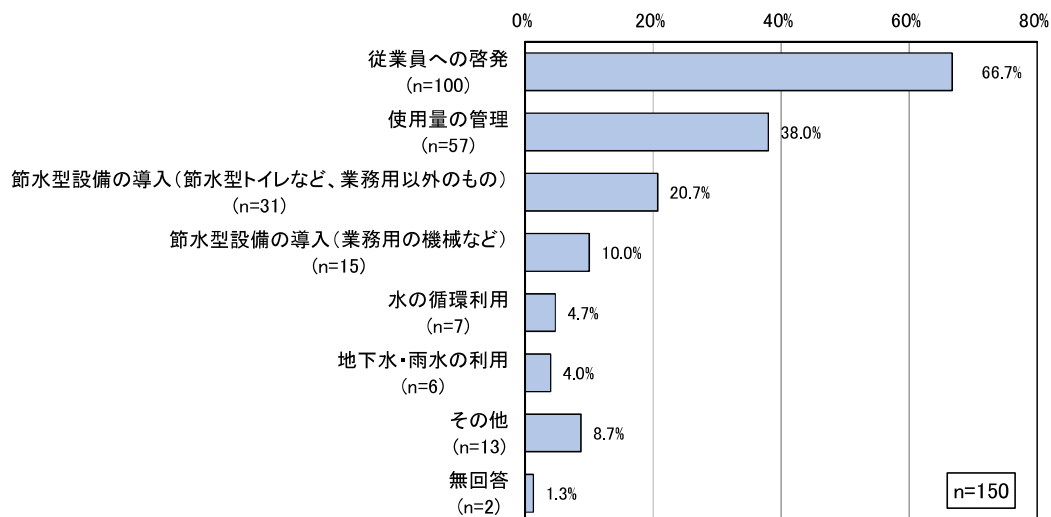
「節水のことは考えずに使っている」・・・使用水量11~20m³で16.7%

「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」・・・同101~200m³で62.8%

「ある程度節水をしながら使っている」・・・同2,001m³以上で57.1%

「まめに節水して使っている」・・・同10m³以下で18.8%となっている。

問1-1 取り組んでいる節水対策



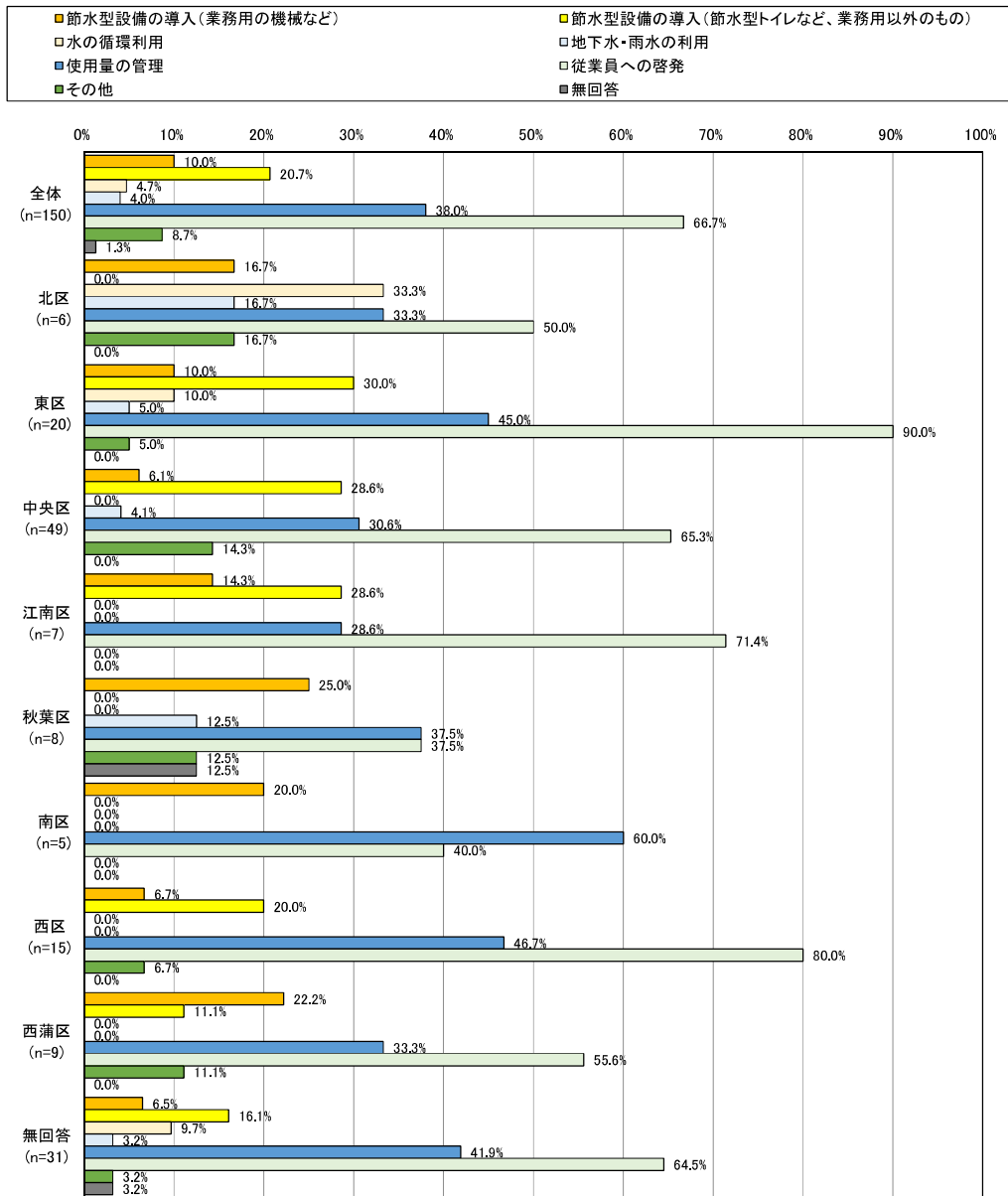
従業員への啓発が66.7%と最も高い数値を示している。

現在取り組んでいる節水対策は、「従業員への啓発」が66.7%と最も高く、「使用量の管理」が38.0%と続いている。「節水型設備の導入(節水型トイレなど業務用以外のもの)」が20.7%、「節水型設備の導入(業務用の機械など)」は10.0%である。

| その他の回答 |
|-------------------------|
| 設備の不備老朽化による漏水防止点検 |
| 蛇口へ繋がる調整栓を適正にしている。 |
| トイレの手洗いに自動水栓を導入 |
| 節水コマ、節水シャワーヘッド |
| 稼働時間の削減 |
| 純粋装置の水を他の設備で使用 |
| 衛生器具の水量調整 |
| 衛生器具の水量調整 |
| ウォーターサーバーを利用して水道の使用を抑える |
| 衛生器具の水量調整 |
| 節水ガンを取り付けている |
| 洗米を軽くしている。塩蔵品中止 |
| 節水型浴槽、シャワー |

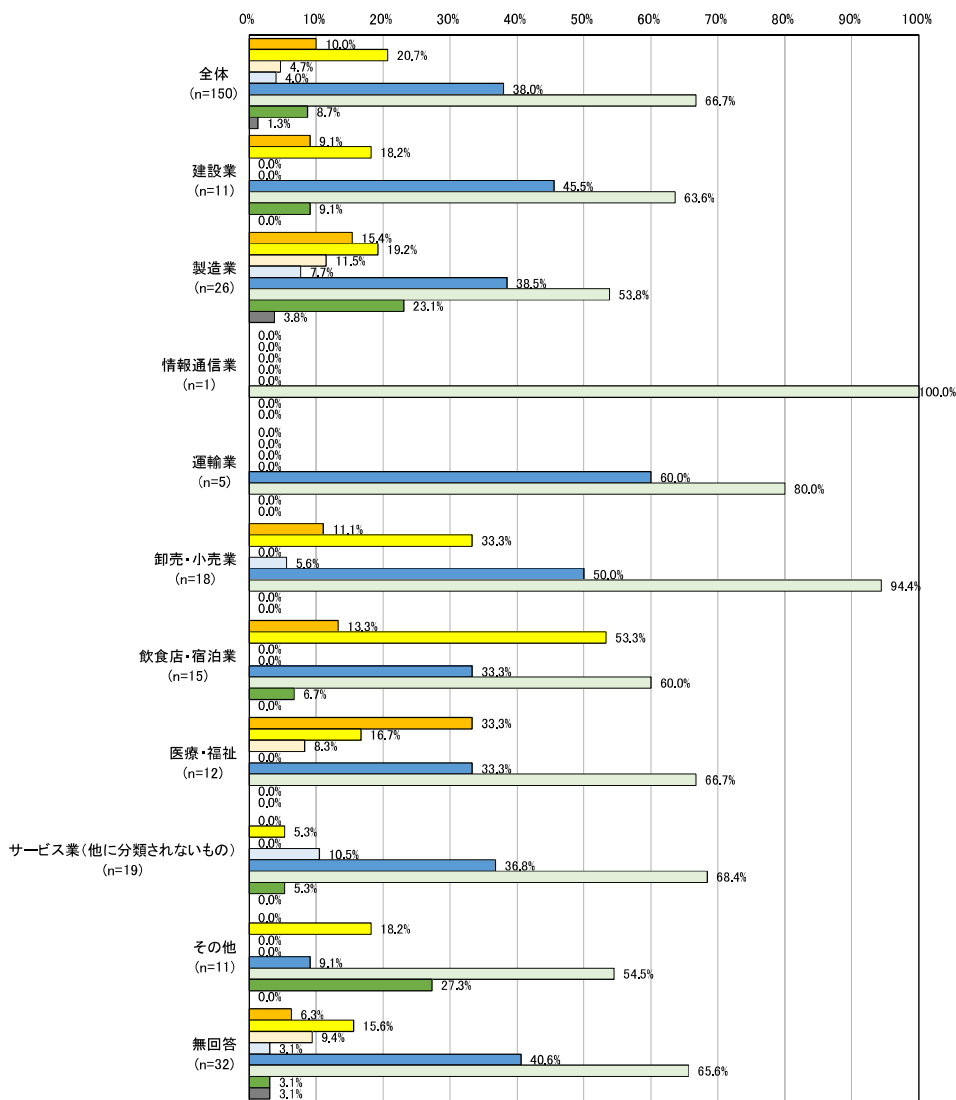
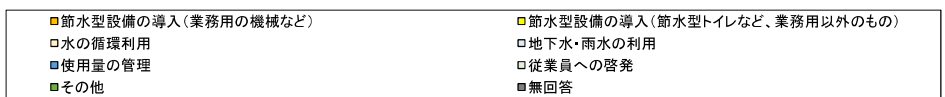
| 1 節水型設備の導入（業務用の機械など） | 2 節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの） | 3 水の循環利用 | 4 地下水・雨水の利用 | 5 使用量の管理 | 6 従業員への啓発 | 7 その他 |
|----------------------|-------------------------------|----------|-------------|----------|-----------|---------|
| 1998年 | 2000年 | 2000年 | 1980年 | 1984年 | 2000年 | 2004年7月 |
| 2000年 | 2000年 | 2016年8月 | 1984年 | 1995年7月 | 2000年 | 2014年1月 |
| 2011年5月 | 2010年7月 | | 2006年1月 | 2006年12月 | 2000年 | 2016年7月 |
| 2012年9月 | 2011年4月 | | 2015年12月 | 2007年1月 | 2006年 | 2016年8月 |
| 2013年9月 | 2011年4月 | | | 2008年 | 2008年 | 2017年1月 |
| 2015年9月 | 2011年4月 | | | 2008年4月 | 2008年4月 | 2017年1月 |
| 2016年9月 | 2011年6月 | | | 2009年1月 | 2008年4月 | 通年 |
| 2017年8月 | 2011年11月 | | | 2010年4月 | 2009年1月 | |
| 2017年9月 | 2013年 | | | 2010年4月 | 2010年4月 | |
| 2017年11月 | 2014年 | | | 2011年4月 | 2010年4月 | |
| | 2014年3月 | | | 2011年4月 | 2010年7月 | |
| | 2014年4月 | | | 2011年4月 | 2011年3月 | |
| | 2015年 | | | 2012年11月 | 2011年4月 | |
| | 2016年1月 | | | 2014年4月 | 2011年4月 | |
| | 2016年3月 | | | 2015年4月 | 2011年4月 | |
| | 2016年8月 | | | 2015年8月 | 2011年10月 | |
| | 2016年9月 | | | 2016年1月 | 2012年 | |
| | 2017年2月 | | | 2016年5月 | 2012年11月 | |
| | 2017年6月 | | | 2017年3月 | 2013年4月 | |
| | 2017年6月 | | | 2017年8月 | 2014年4月 | |
| | 2017年11月 | | | 2017年10月 | 2015年6月 | |
| | 以前より | | | 2017年11月 | 2015年 | |
| | | | | 2018年6月 | 2016年 | |
| | | | | ずっと | 2016年1月 | |
| | | | | 以前より | 2016年10月 | |
| | | | | 年中 | 2017年1月 | |
| | | | | | 2017年3月 | |
| | | | | | 2017年4月 | |

| 1 節水型設備の導入（業務用の機械など） | 2 節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの） | 3 水の循環利用 | 4 地下水・雨水の利用 | 5 使用量の管理 | 6 従業員への啓発 | 7 その他 |
|----------------------|-------------------------------|----------|-------------|----------|-----------|-------|
| | | | | | 2017年4月 | |
| | | | | | 2017年7月 | |
| | | | | | 2017年8月 | |
| | | | | | 2017年10月 | |
| | | | | | 2017年10月 | |
| | | | | | 2017年11月 | |
| | | | | | 2018年6月 | |
| | | | | | かなり前から | |
| | | | | | ずっと | |
| | | | | | 以前より | |
| | | | | | 以前より | |
| | | | | | 継続 | |
| | | | | | 月一回位 | |
| | | | | | 常時 | |
| | | | | | 常時 | |
| | | | | | 昔から | |
| | | | | | 毎月 | |
| | | | | | 毎年4月 | |



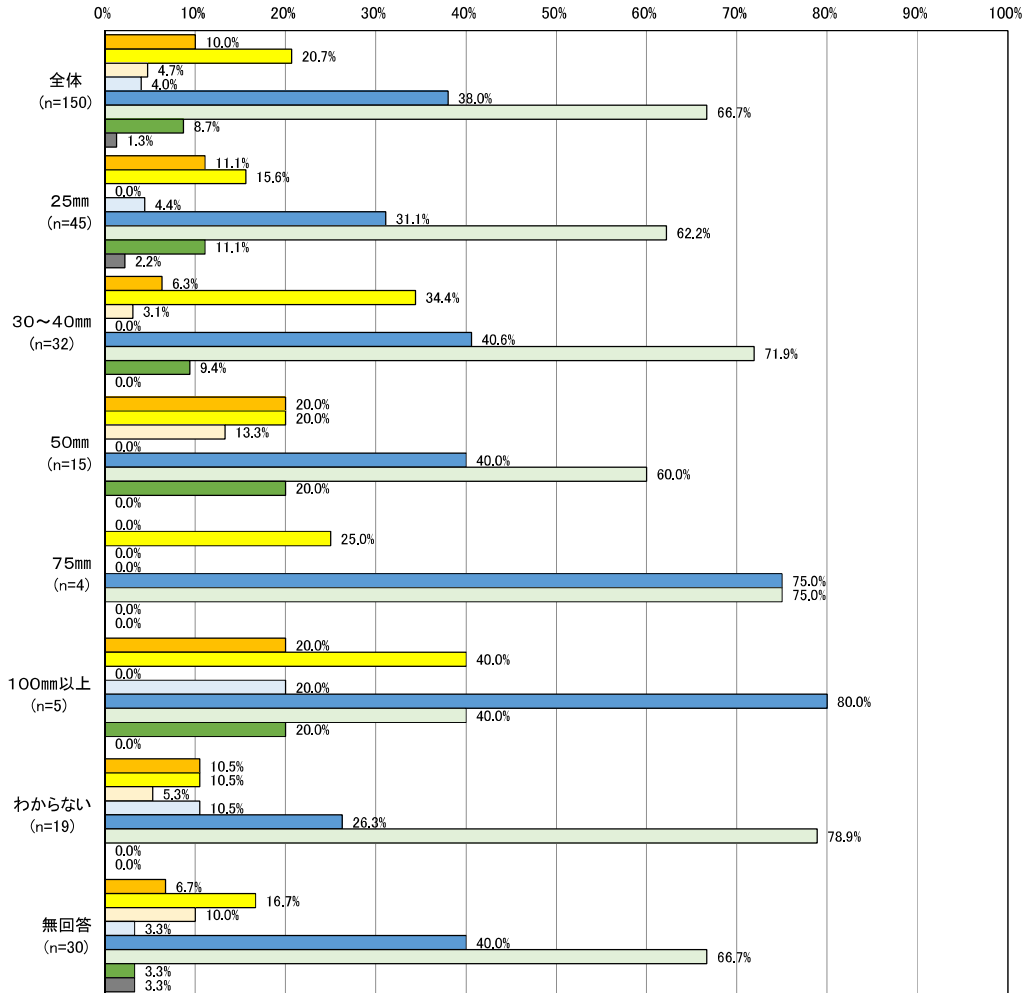
所在区別でみると、すべての区で「従業員への啓発」が高い傾向にあるが、南区では唯一「使用量の管理」が60.0%と最も高く、北区では「節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)」がない代わりに、「水の循環利用」が33.3%と他の各区に比較してかなり高いのが特徴的である。

また、東区では「節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)」が30.0%と多く、秋葉区では「節水型設備の導入(業務用の機械など)」が25.0%と多いなど、各区によって多様であることが分かった。

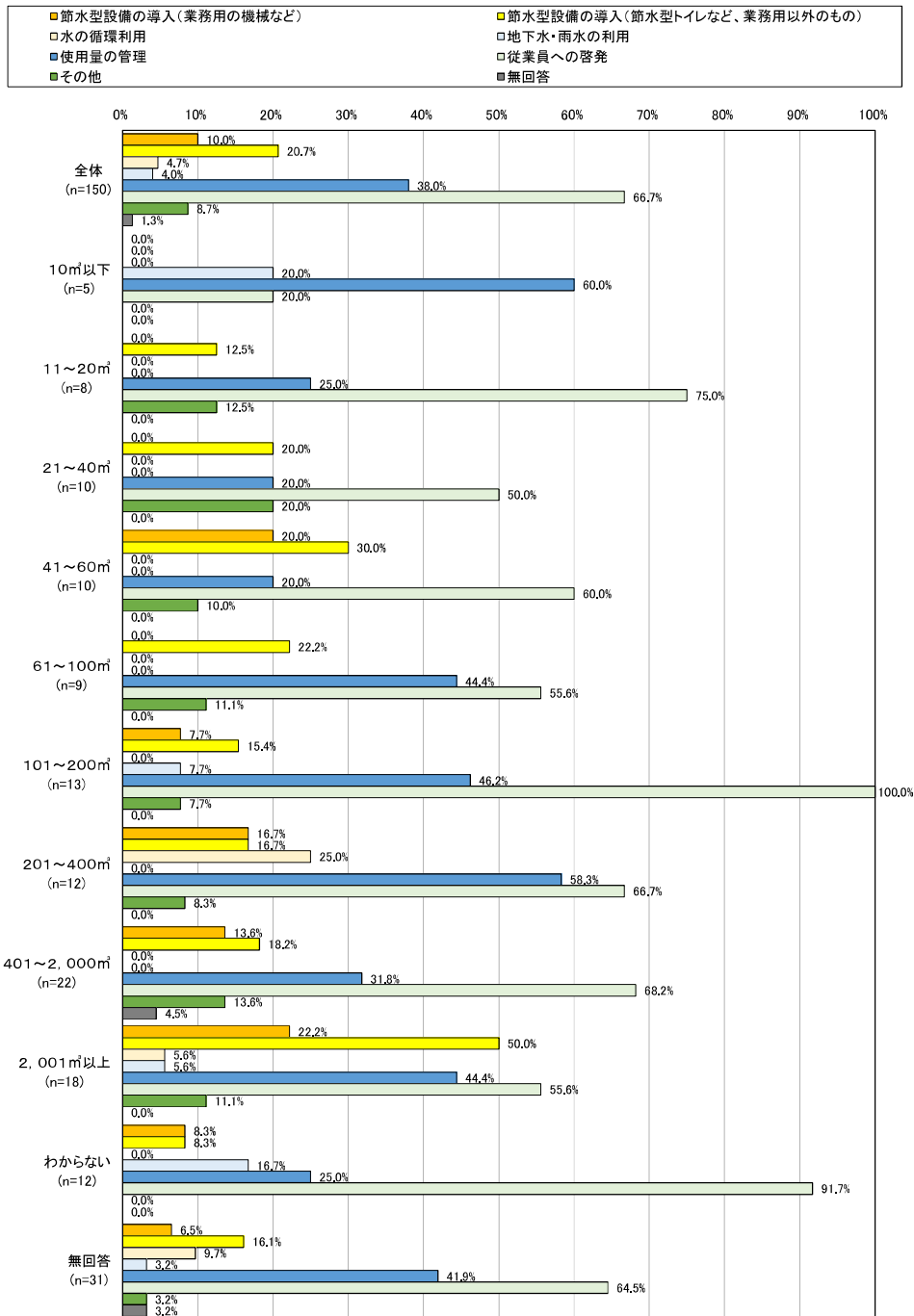


業種別にみると、すべての業種で「従業員の啓発」の回答が第1位だった。飲食店・宿泊業では、「節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)」を回答した事業所の割合が53.3%と他の業種に比べてかなり多く、「使用量の管理」を抜いて第2位だった。

また、製造業では「水の循環利用」が11.5%と高く、医療・福祉では「節水型設備の導入(業務用の機械など)」が33.3%と高いなど、各業種によって多様であることが分かった。

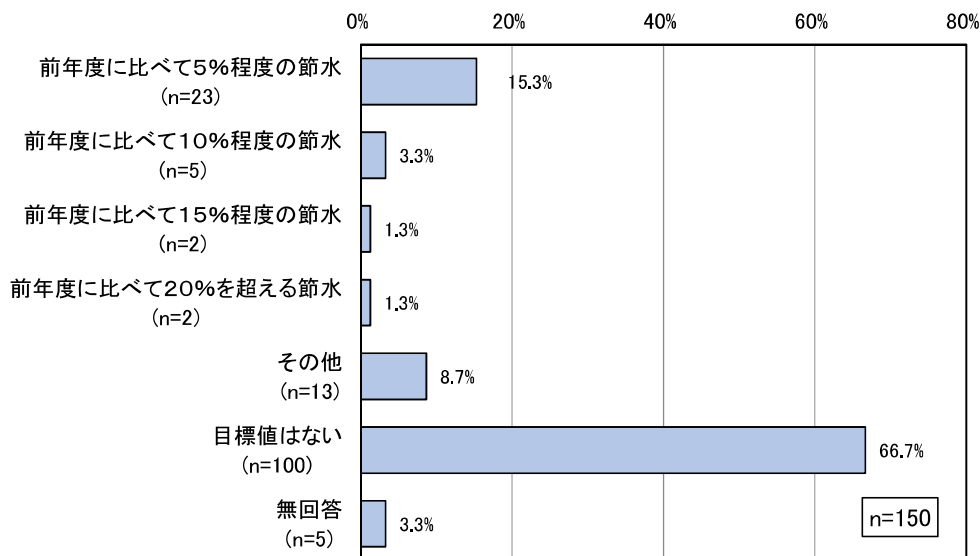


水道メーター口径別でみると、水道のメーター口径が75mmでは、「使用量の管理」が75.0%で「従業員の啓発」と並び1位となり、100mm以上では、「使用量の管理」が80.0%で「従業員の啓発」40.0%を押さえ1位となるなど、水道メーター口径が大きくなるにつれて、対策が多様化することがわかった。



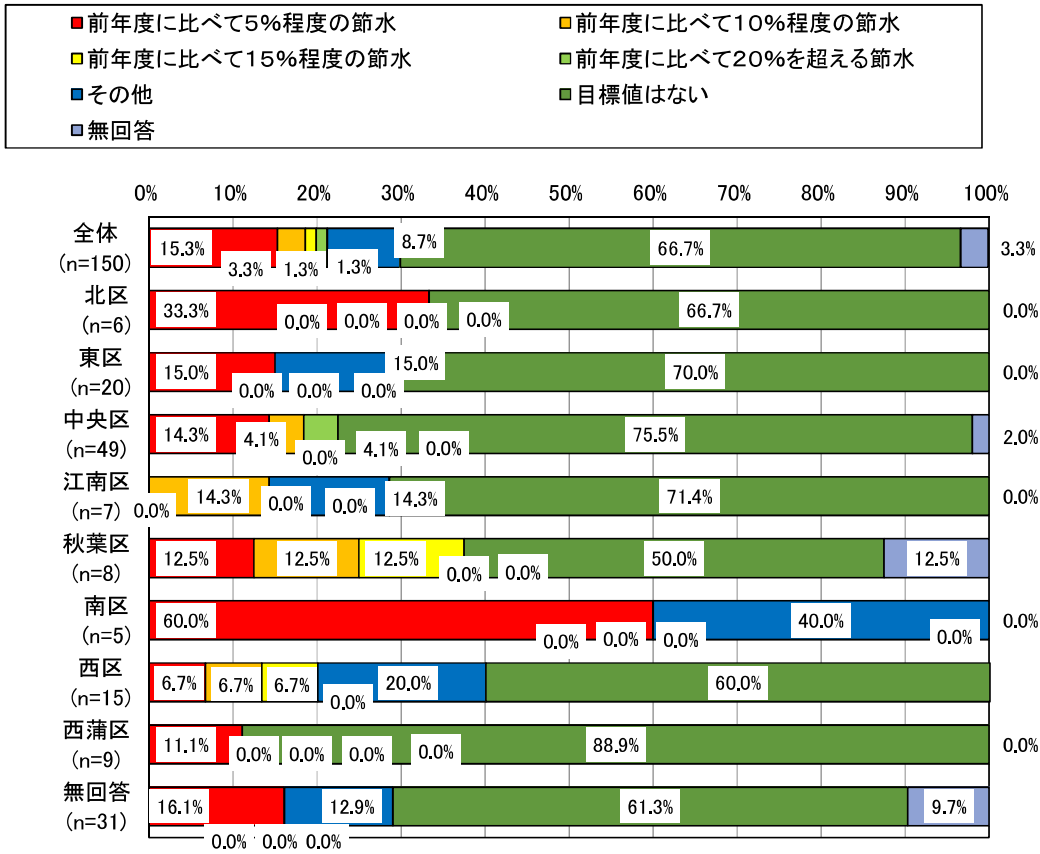
直近の水道使用水量別で見ると、2,001m³以上では「節水型設備の導入（節水型トイレなど、業務用以外のもの）」が50.0%で「使用量の管理」が44.4%を押さえ第2位となるなど、使用した水道水の量が多くなるほど、対策が多様化することがわかった。

問1-2 水道使用量の目標値



節水の目標値については、「目標値はない」66.7%が最も高く、過半数を占めている。次いで「前年度に比べて5%程度の節水」15.3%、「その他」8.7%、「前年度に比べて10%程度の節水」3.3%となっている。「前年度に比べて15%程度の節水」と「前年度に比べて20%を超える節水」はほとんどなかった。

| その他の回答 |
|--|
| 前年度と同程度 |
| 前年度を越えて無い事 |
| 昨年より増員、仕事量の為トイレ、洗濯量が増えるので節水は不可能の見込みだが常に全員節水に意識しています。 |
| 前年に比べて3%程度の節水 |
| 受注内容により使用量が増減する目標値は設定できない。 |
| 導入前と比較して50%以上減 |
| 前年度を超過しない |
| 既に節水に努めている為前年度並み |
| わかりません |
| 前年度に比べて3%程度の節水 |
| 導入予定がある時は目標を立てる |



所在区別で見ると、南区を除く全ての区で「目標値はない」が最も高く、過半数を占めている。「目標値はない」を除く他の5項目を合わせて何らかの目標値を持つ順にみると、

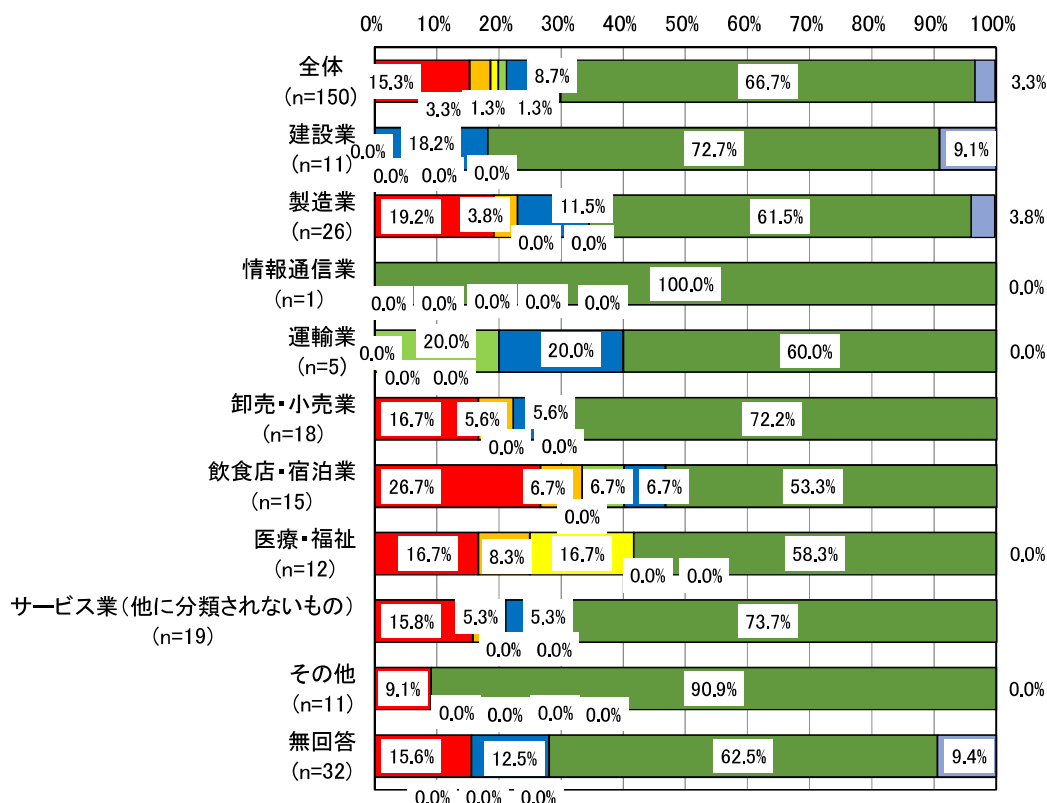
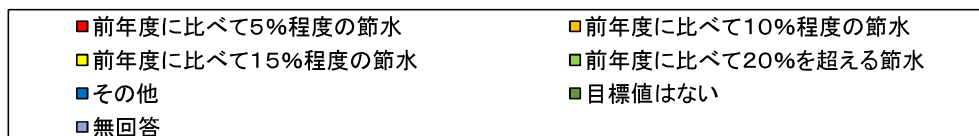
- 1) 南区が100.0%
- 2) 西区が40.1%
- 3) 秋葉区が37.5%

となっている。

逆に「目標値はない」順にみると、

- 1) 西蒲区が88.9%
- 2) 中央区が75.5%
- 3) 江南区が71.4%

となっている。



業種別でみると、全ての業種で「目標値はない」が最も高く、過半数を占めている。「目標値はない」を除く他の5項目を合わせて何らかの目標値を持つ順にみると、

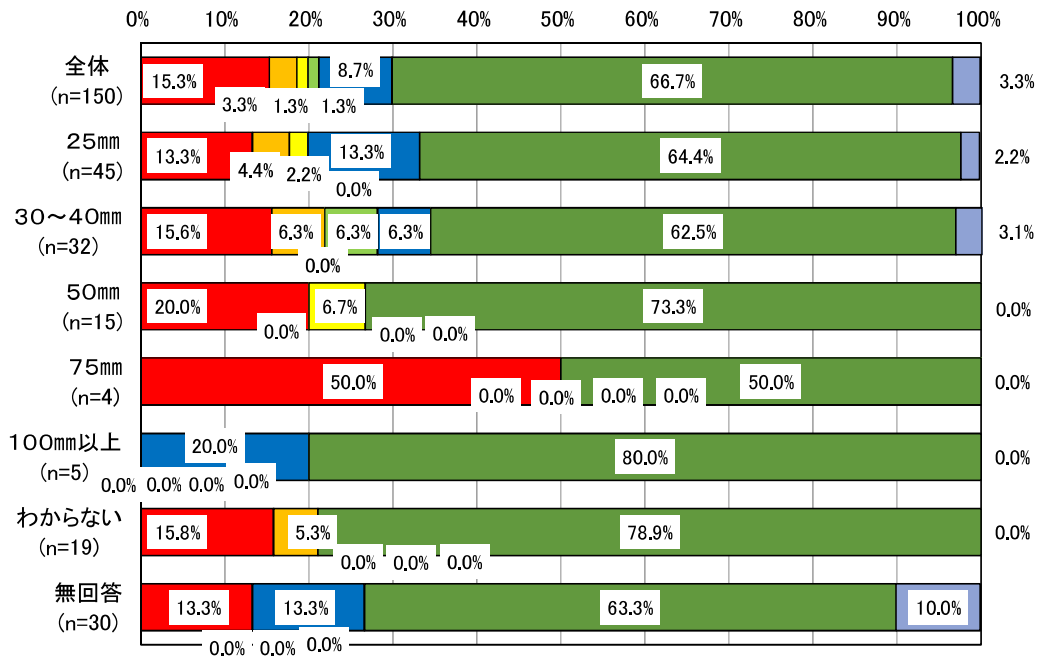
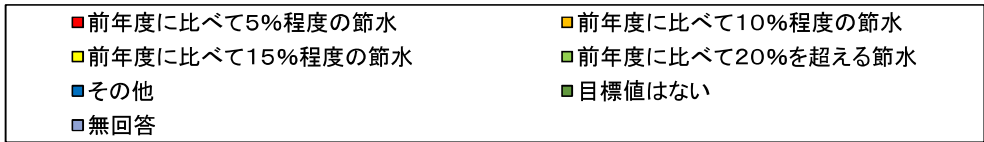
- 1) 飲食店、宿泊業が46.8%
- 2) 医療・福祉が41.7%
- 3) 運輸業が40.0%

となっている。

逆に「目標値はない」順にみると、

- 1) 情報通信業が100.0%
- 2) その他が90.9%
- 3) サービス業(他に分類されないもの)が73.7%

となっている。



水道メーター口径別に見て、各回答選択肢のピークをみると、

「前年度に比べて5%程度の節水」・・・水道メーター口径75mmで50.0%

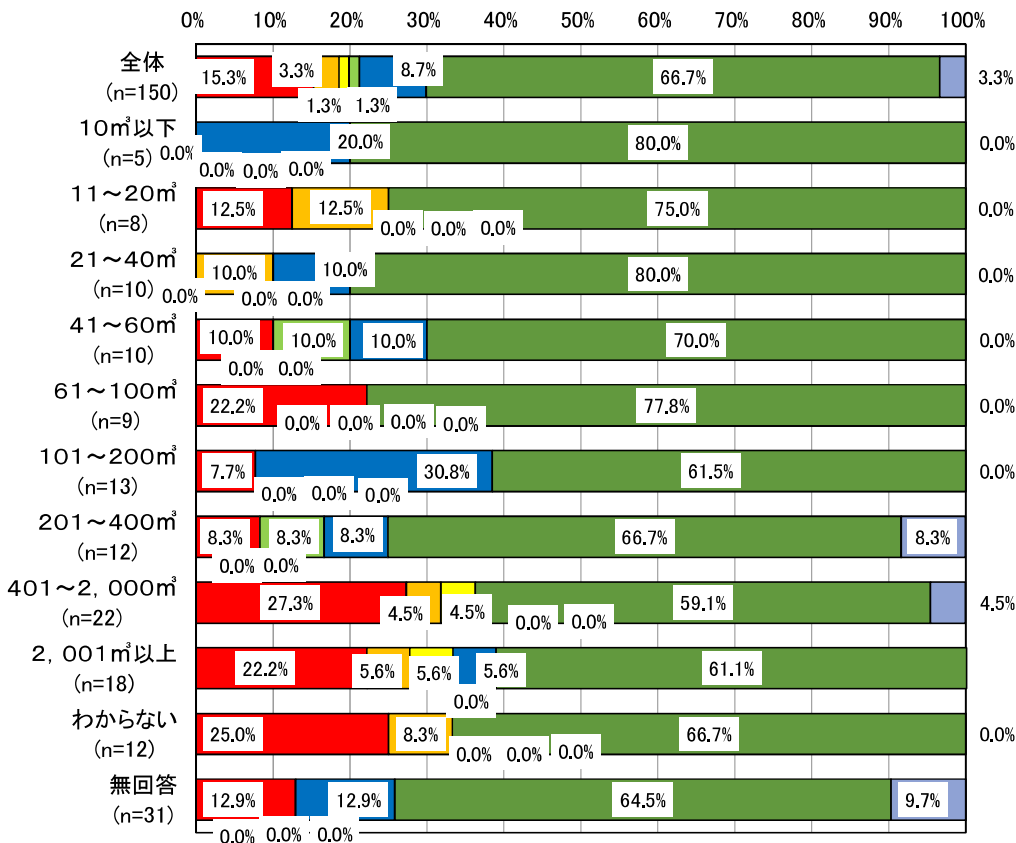
「前年度に比べて10%程度の節水」・・・同30~40mmで6.3%

「前年度に比べて15%程度の節水」・・・同50mmで6.7%

「前年度に比べて20%を超える節水」・・・同30~40mmで6.3%

「その他」・・・同100mm以上で20.0%

「目標値はない」・・・同100mm以上で80.0%



使用水量別に各回答選択肢のピークをみると、

「前年度に比べて5%程度の節水」・・・使用水量401~2,000m³で27.3%

「前年度に比べて10%程度の節水」・・・同11~20m³で12.5%

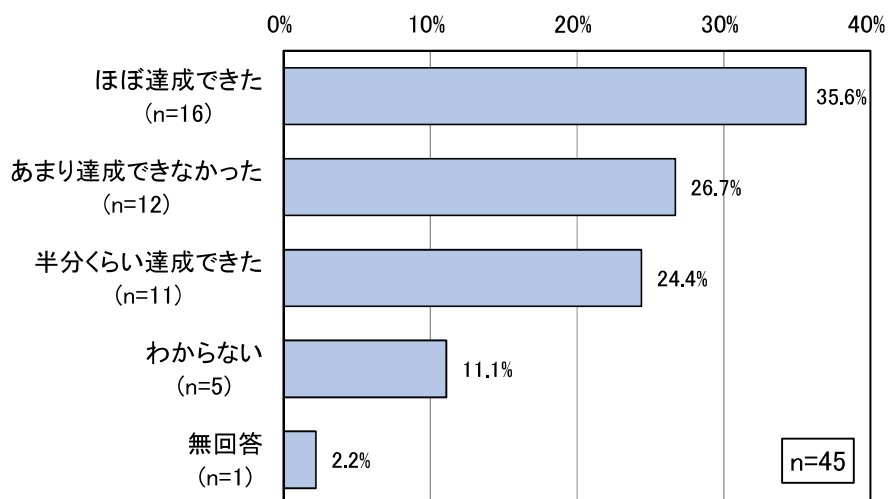
「前年度に比べて15%程度の節水」・・・同2,001m³以上で5.6%

「前年度に比べて20%を超える節水」・・・同41~60m³で10.0%

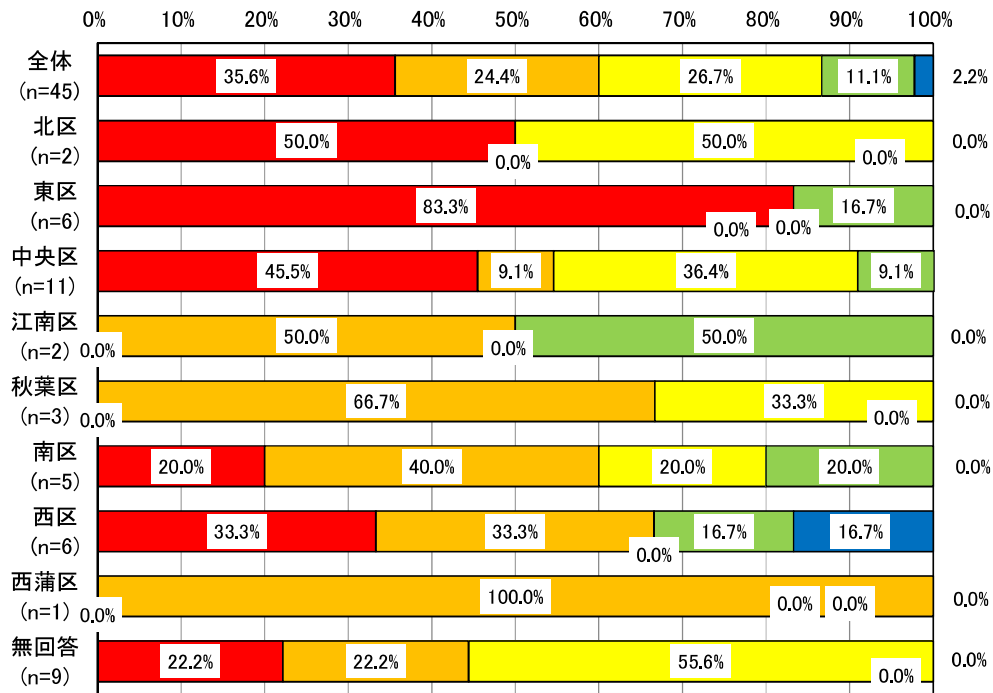
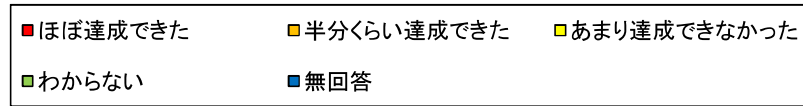
「その他」・・・同101~200m³で30.8%

「目標値はない」・・・同10m³以下と21~40m³で80.0%

問1-3 節水目標の達成

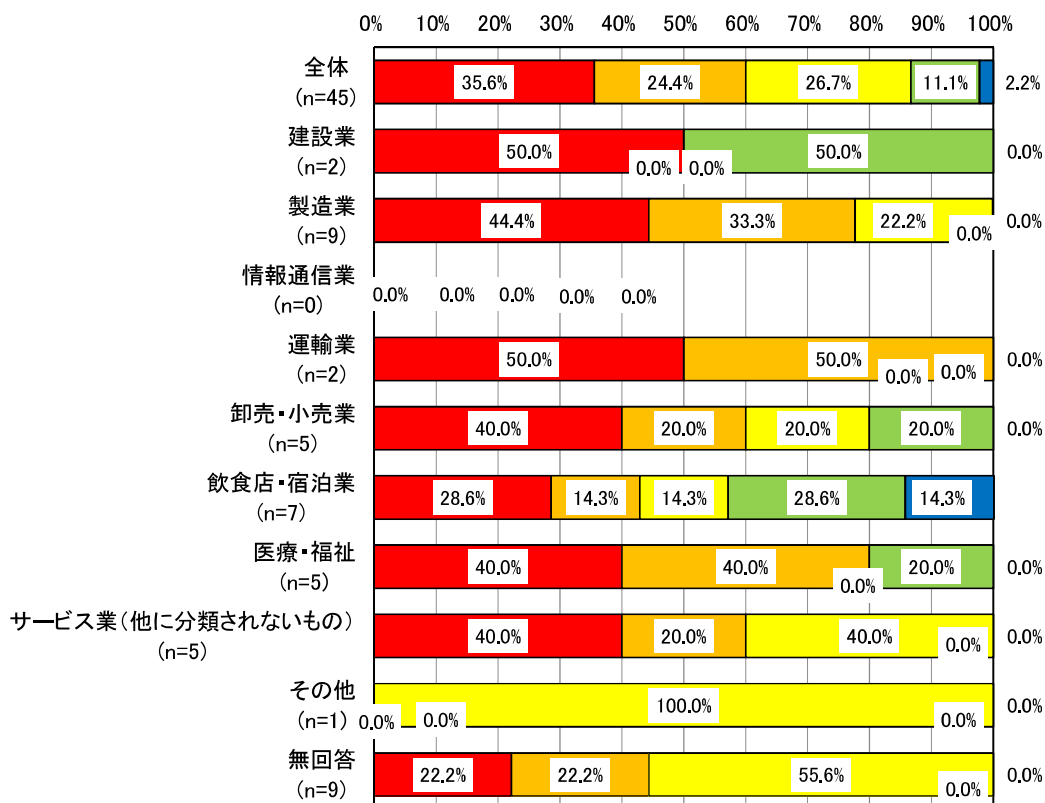
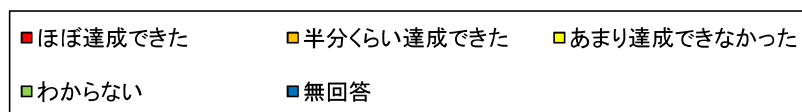


「ほぼ達成できた」が35.6%と最も高い。また、「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」事業所の合計が60.0%だった。



所在区別で見ると、江南区、秋葉区、西蒲区は節水目標を「ほぼ達成できた」事業所がなかった。

- 所在区別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、
- 1) 西蒲区が100.0%
 - 2) 東区が83.3%
 - 3) 秋葉区が66.7%
- となっている。



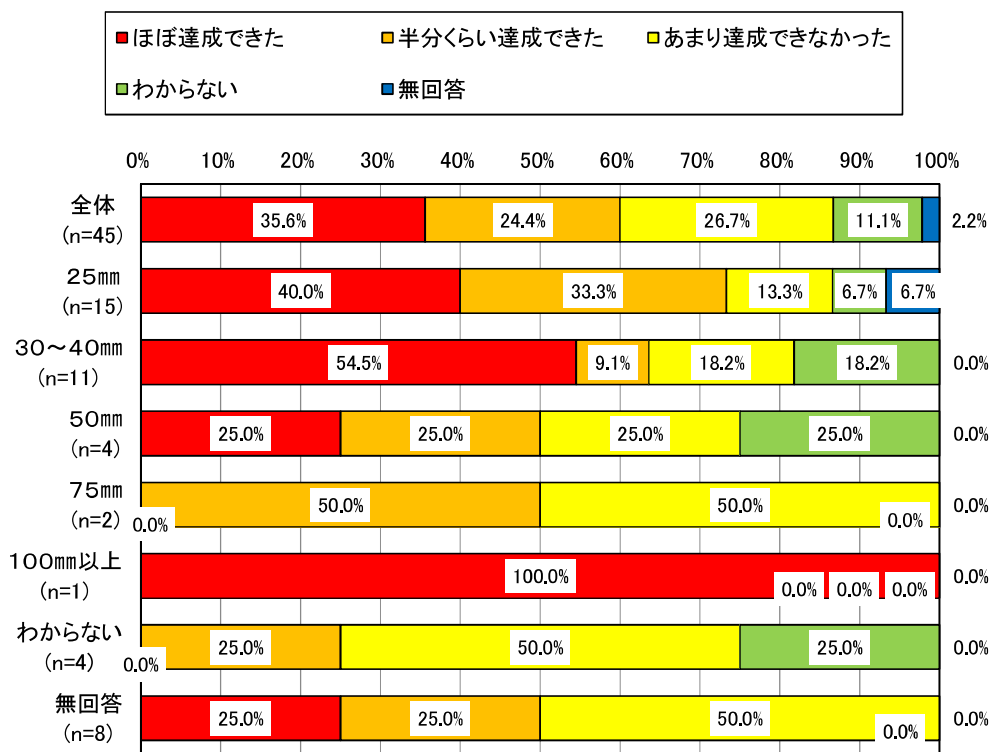
業種別にみると、

建設業、運輸業では「ほぼ達成できた」事業所の割合が50%だった。特に運輸業では「半分くらい達成できた」を含めると節水目標を半分以上達成できた事業所の割合が100%に達した。

業種別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

- 1) 運輸業が100.0%
- 2) 医療・福祉が80.0%
- 3) 製造業が77.7%

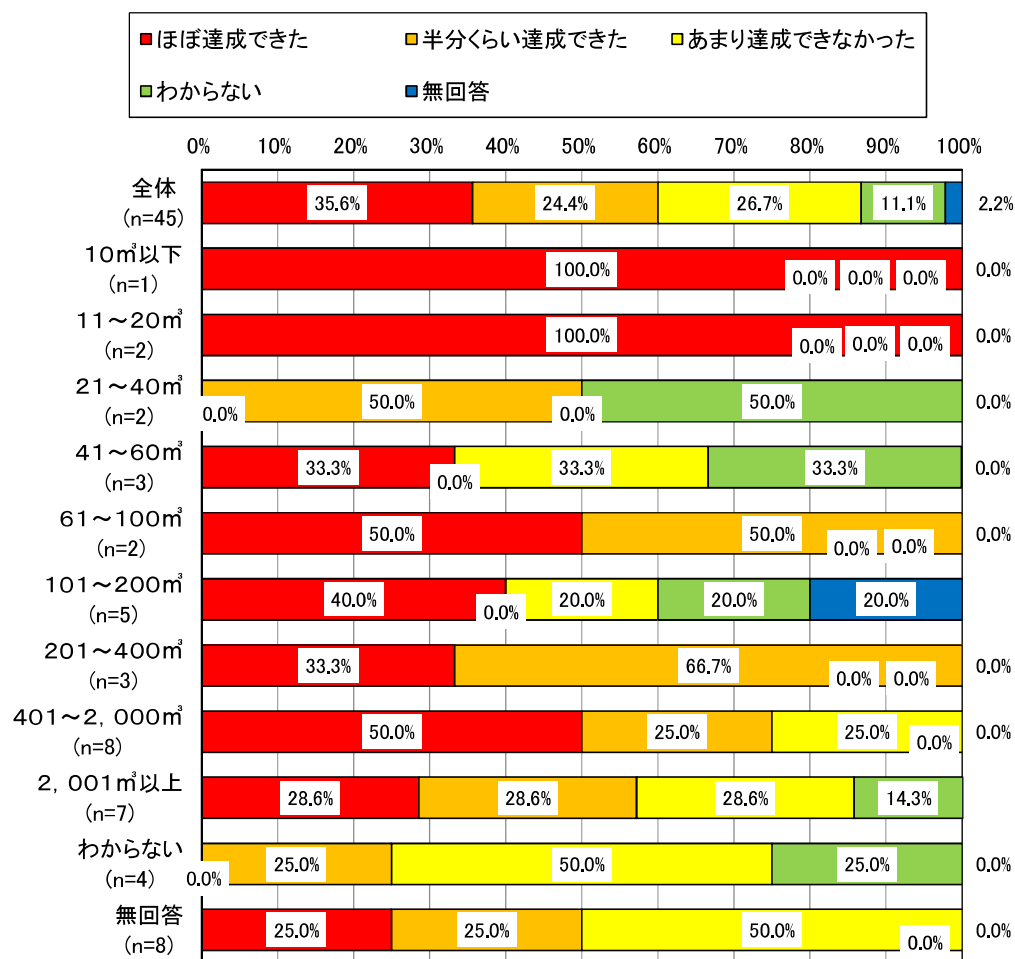
となっている。



水道メーター口径別でみると、回答数の少ない75mm、100mm以上を除くと、各口径別で、節水目標を達成できた事業所の割合に大きな違いは見られないが、50mmで「ほぼ達成できた」割合が25.0%と低かった。

水道メーター口径別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると、

- 1) 100mm以上が100.0%
 - 2) 25mmが73.3%
 - 3) 30~40mmが63.6%
- となっている。

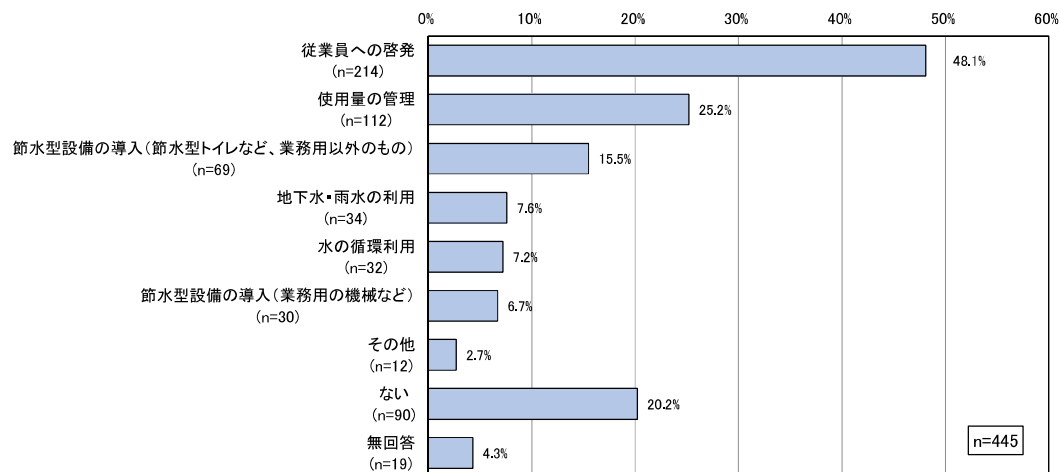


直近の水道使用水量別で見ると、回答数の少ない10m³以下、11~20m³、21~40m³と61~100m³を除くと、401~2000m³で「ほぼ達成できた」割合が50%となった。「わからない」で「ほぼ達成できた」事業所がなく、「半分くらい達成できた」割合も25.0%と低く、他の使用水量と比べて達成割合が低い結果となった。

直近の水道使用水量別に「ほぼ達成できた」と「半分くらい達成できた」を合わせて高い順にみると

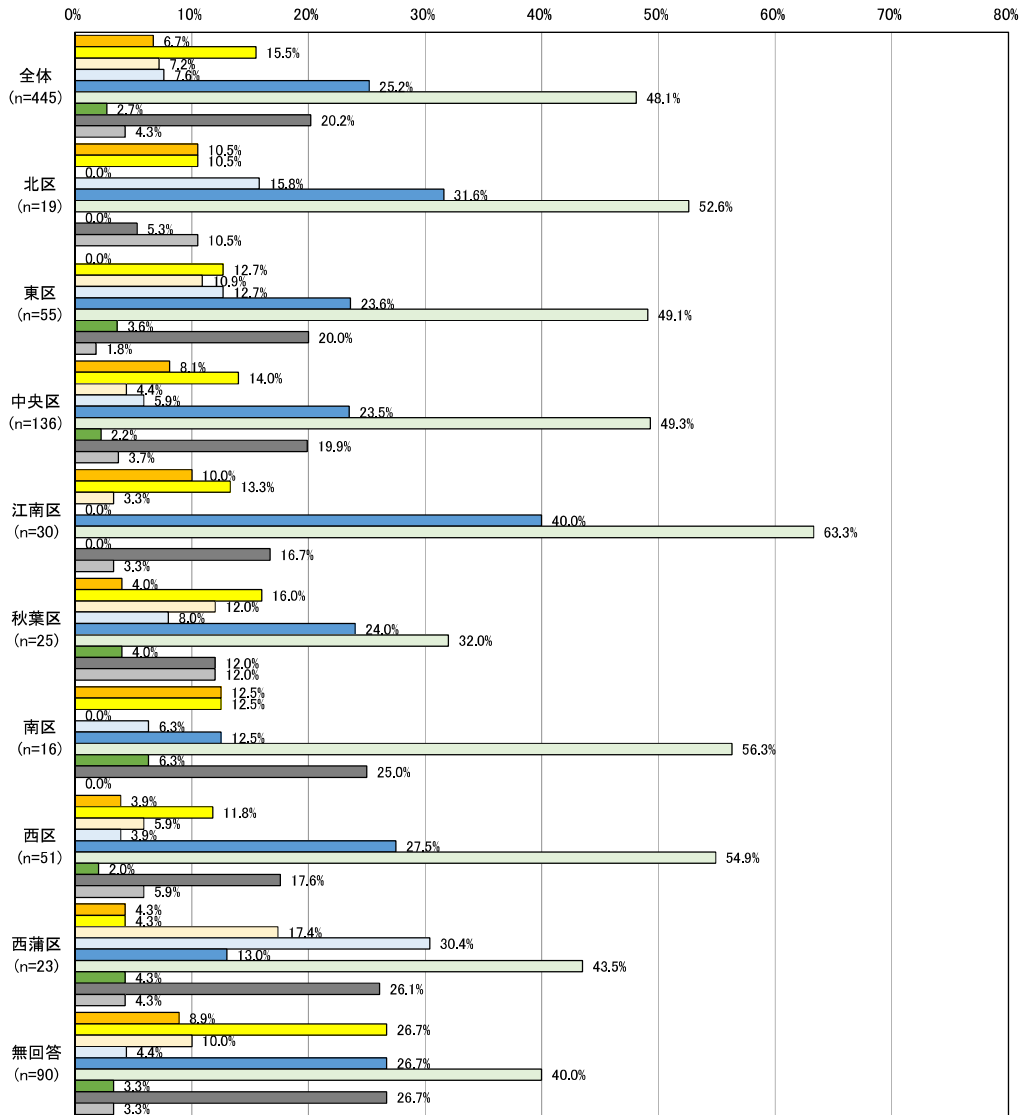
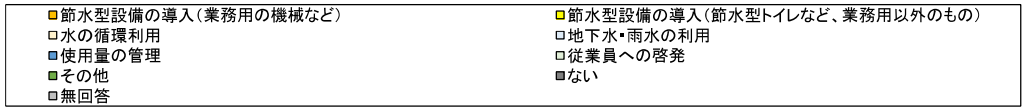
- 1) 10m³以下が100.0%
 - 2) 11~20m³が100.0%
 - 3) 61~100m³が100.0%
 - 4) 201~400m³が100.0%
- となっている。

問2 今後取り組みたい節水対策

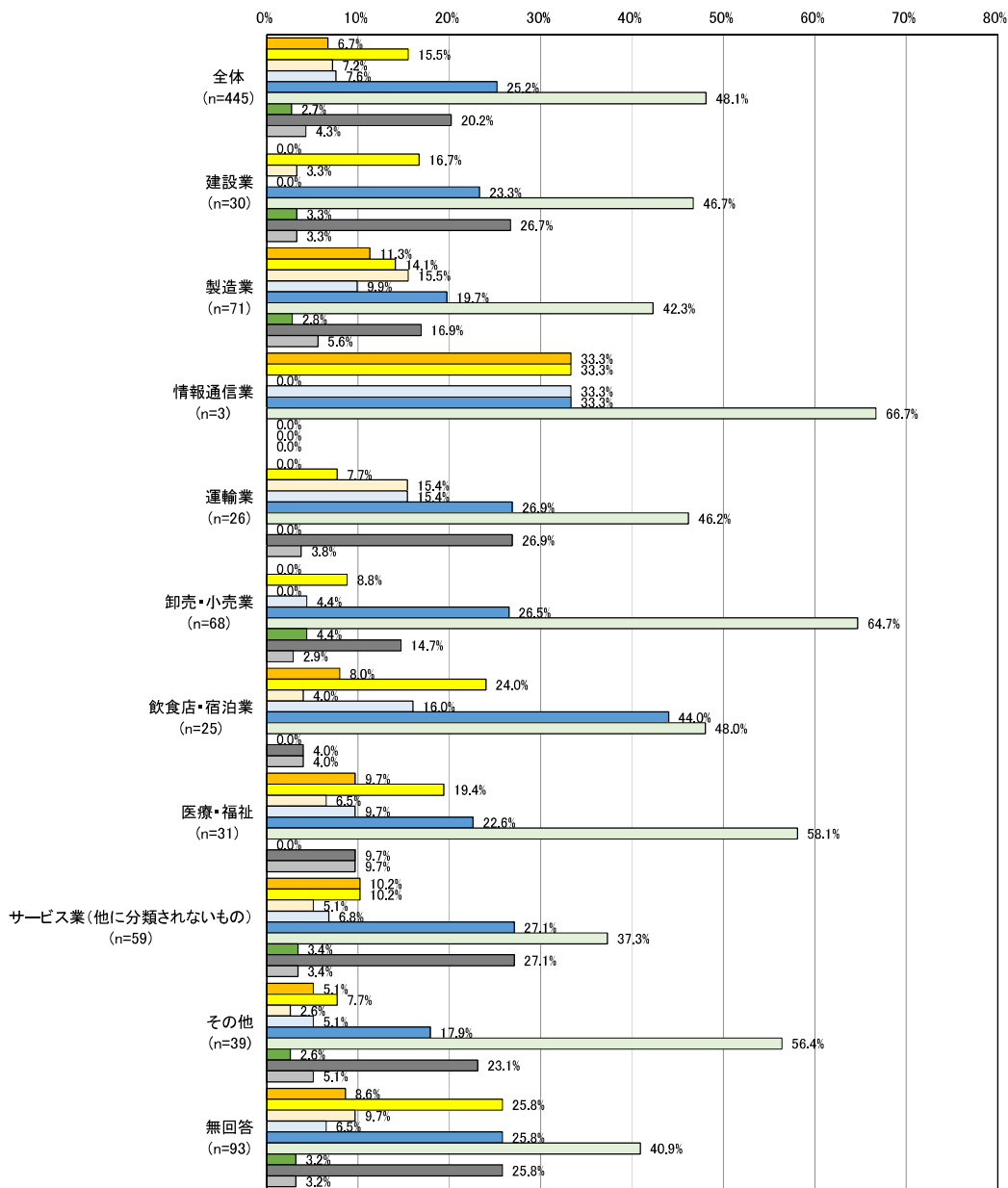
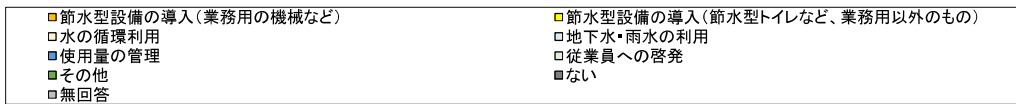


今後取り組みたい節水対策は、「従業員への啓発」が48.1%と最も多く、次いで「使用量の管理」が25.2%、「節水型設備の導入(節水型トイレなど、業務用以外のもの)」が15.5%、一方「ない」が20.2%となっている。

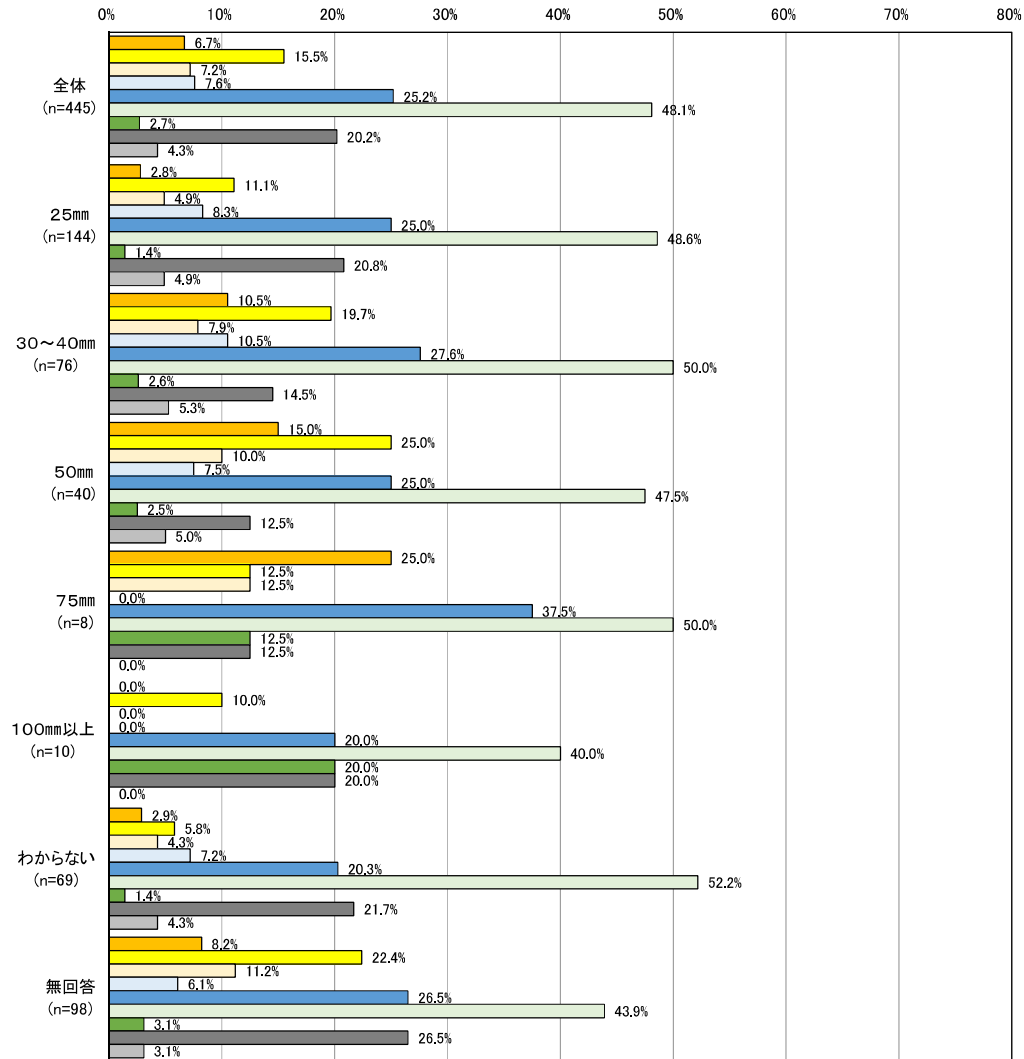
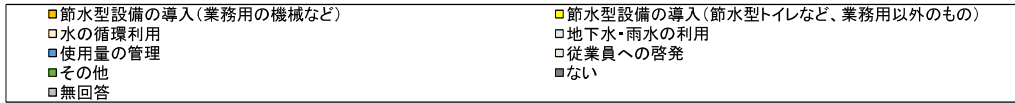
| その他の回答 |
|------------------------------------|
| 現在も自動水栓等節水型の設備を使用しており、劣化の都度更新している。 |
| 水道管破損の有無 |
| 現在の社員への節水への協力願いを継続する。 |
| タンクに入れて節水を図る |
| 蛇口に取り付け可能なもの(他館で試している) |
| 漏水調査 |
| こまめに止める等の意識づけ |
| 検討中 |
| 現在のところ考えていない |
| 蛇口のひねり方をゆっくりと |
| 特に対策を検討していない |
| 口径変更 |



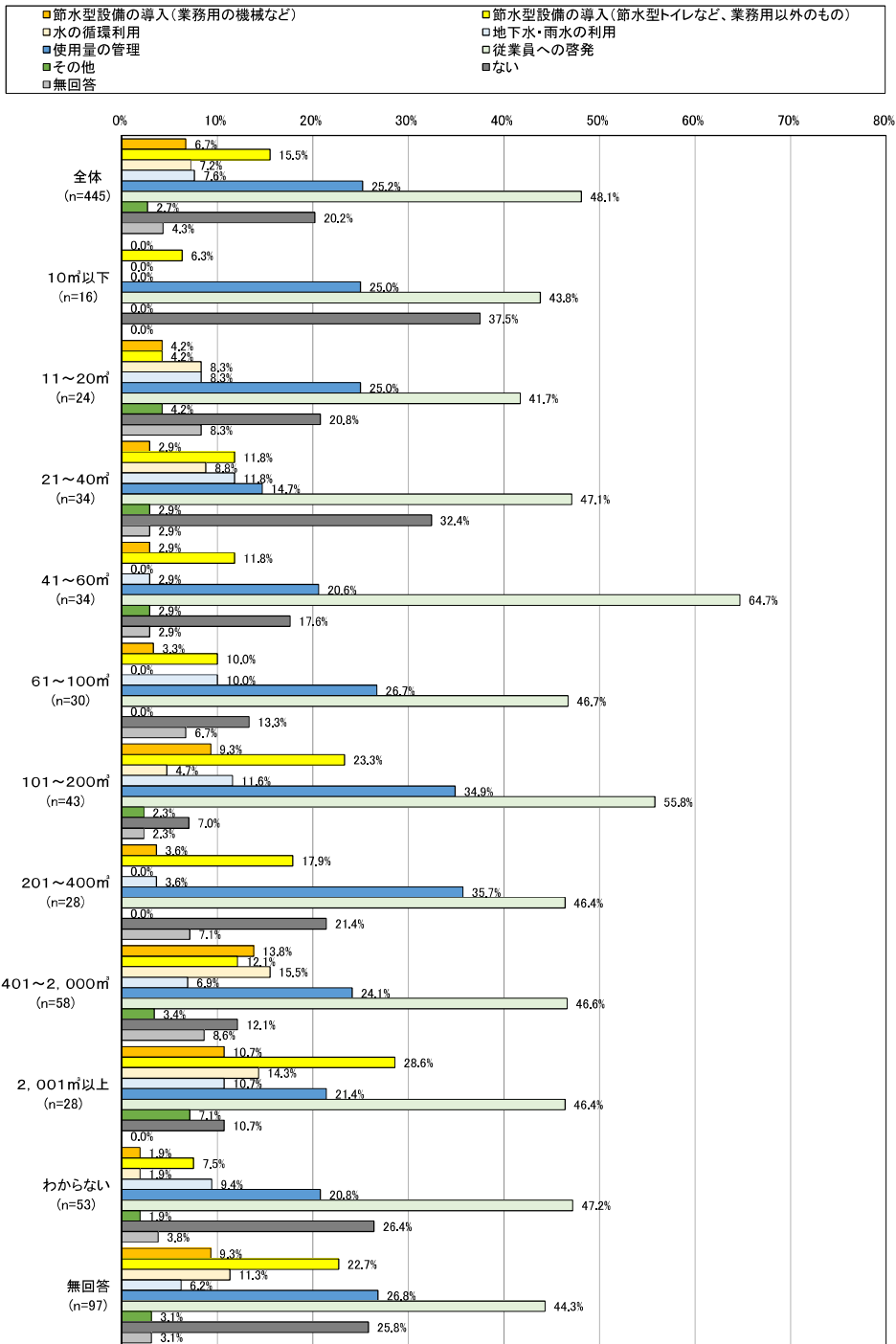
所在区別でみると、すべての区で「従業員の啓発」が30%を超えて第1位であるとともに、「使用量の管理」が次に続く傾向は、現在の取り組みの状況と変わらないが、西蒲区では今後取り組みたい節水対策は「地下水・雨水の利用」(30.4%)が「使用量の管理」(13.0%)を上回ったことが特徴的である。



業種別にみると、すべての業種で、今後取り組みたい節水対策は「従業員の啓発」が第1位で、続いて「使用量の管理」が高い傾向は変わらない。

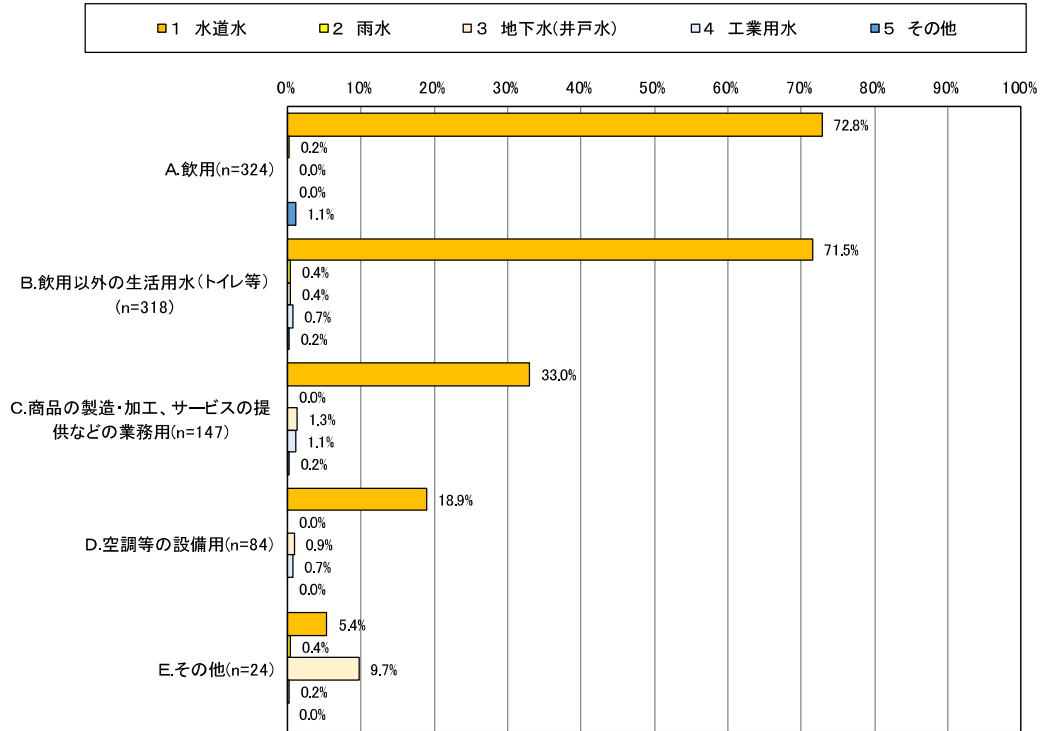


水道メーター口径別でみると、水道メーター口径が大きくなるほど、今後取り組みたい節水対策として、「節水型設備の導入（業務用の機械など）」の割合が増えていく傾向があることが分かった。



直近の水道使用水量別で見ると、使用した水道水の量が多くなるほど、今後取り組みたい節水対策として、「節水型設備の導入（節水型トイレなど）」に力を入れていることが分かった。

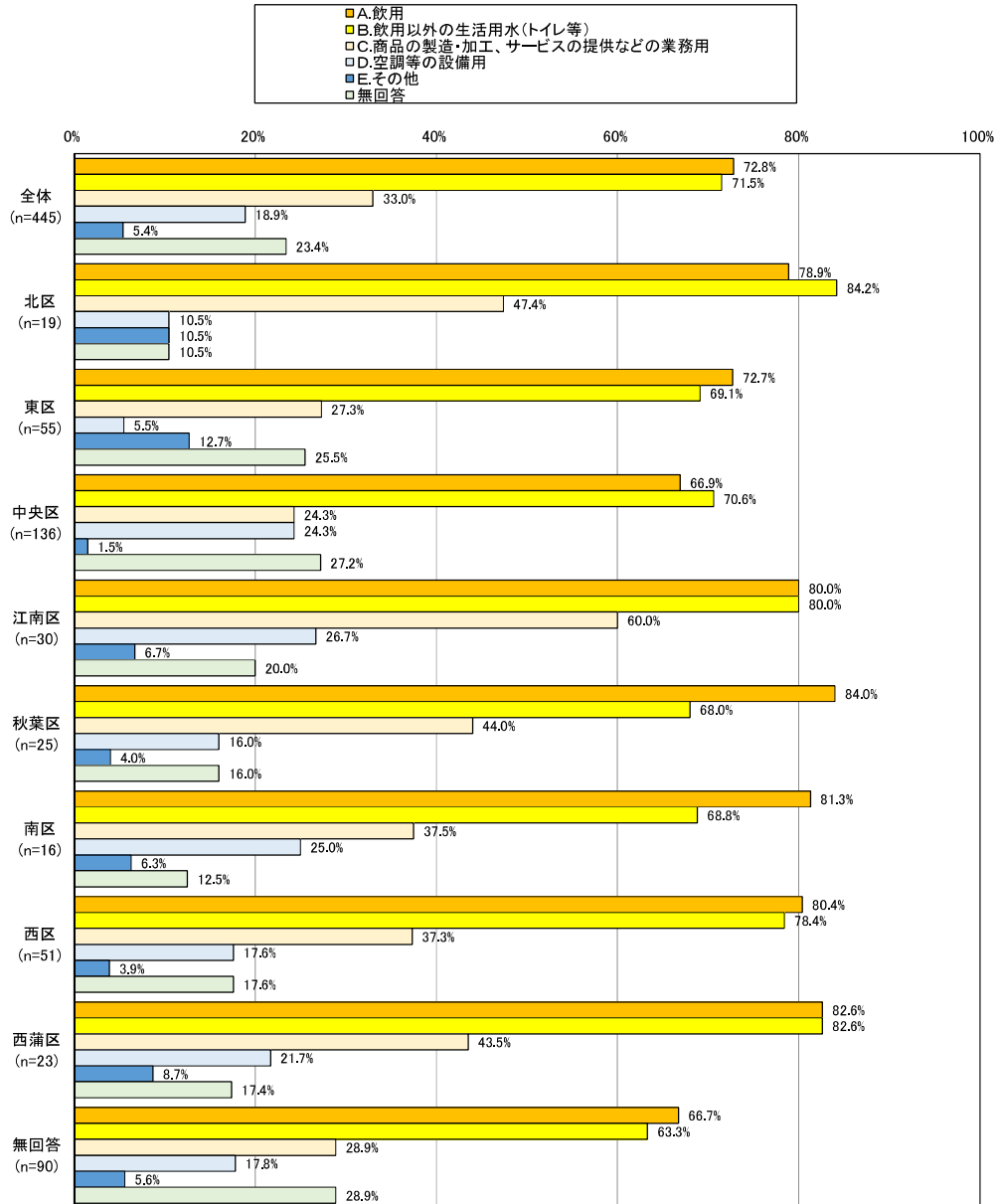
問3 利用している水、及びその用途



どの用途においても、水道水の利用率が高いが「その他」において地下水（井戸水）が9.7%と高い数値を示している。

| その他の回答 | | | |
|-------------|----|---------------------|---|
| 用途 (E. その他) | | 利用している水の種類 (5. その他) | |
| 消雪 | 23 | ウォーターサーバー | 2 |
| 洗車 | 14 | 循環利用 | 1 |
| 融雪 | 8 | 保存水 | 1 |
| 消雪パイプ | 5 | 屋上タンク水 | 1 |
| 資機材の洗浄 | 2 | ミネラルウォーター | 1 |
| 浴室他 | 2 | アクアクララ | 1 |
| 洗車、融雪 | 2 | | |
| 植栽、融雪 | 2 | | |
| ボイラー | 1 | | |
| 除雪パイプ | 1 | | |
| 床洗い用 | 1 | | |
| 消火 | 1 | | |
| 消雪ポンプ | 1 | | |
| 消雪用 | 1 | | |
| 洗車機 | 1 | | |
| 掃除用 | 1 | | |
| 草木への散水 | 1 | | |
| 入居者のお風呂など | 1 | | |
| 非常時用 | 1 | | |
| 噴水設備 | 1 | | |

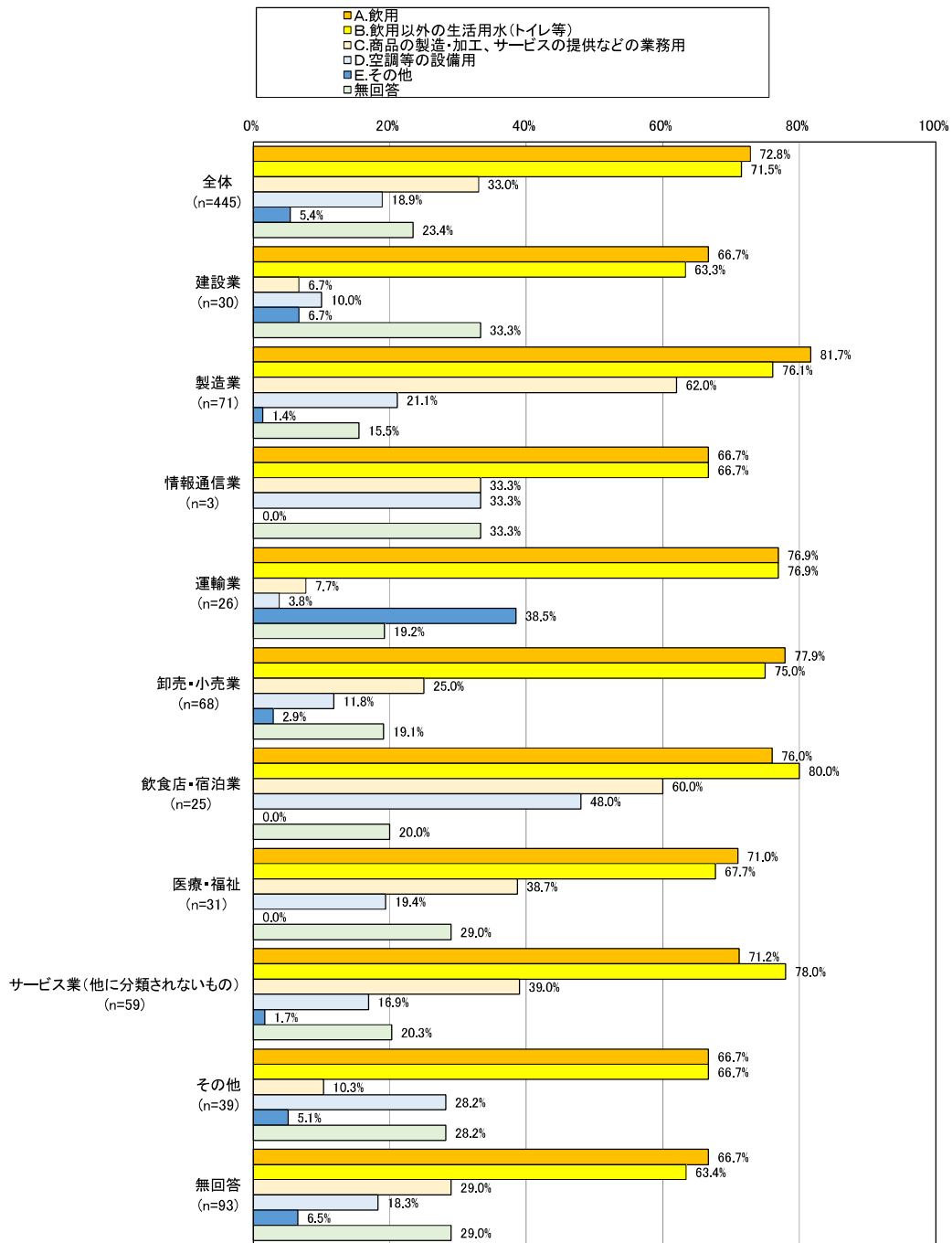
水道水の利用



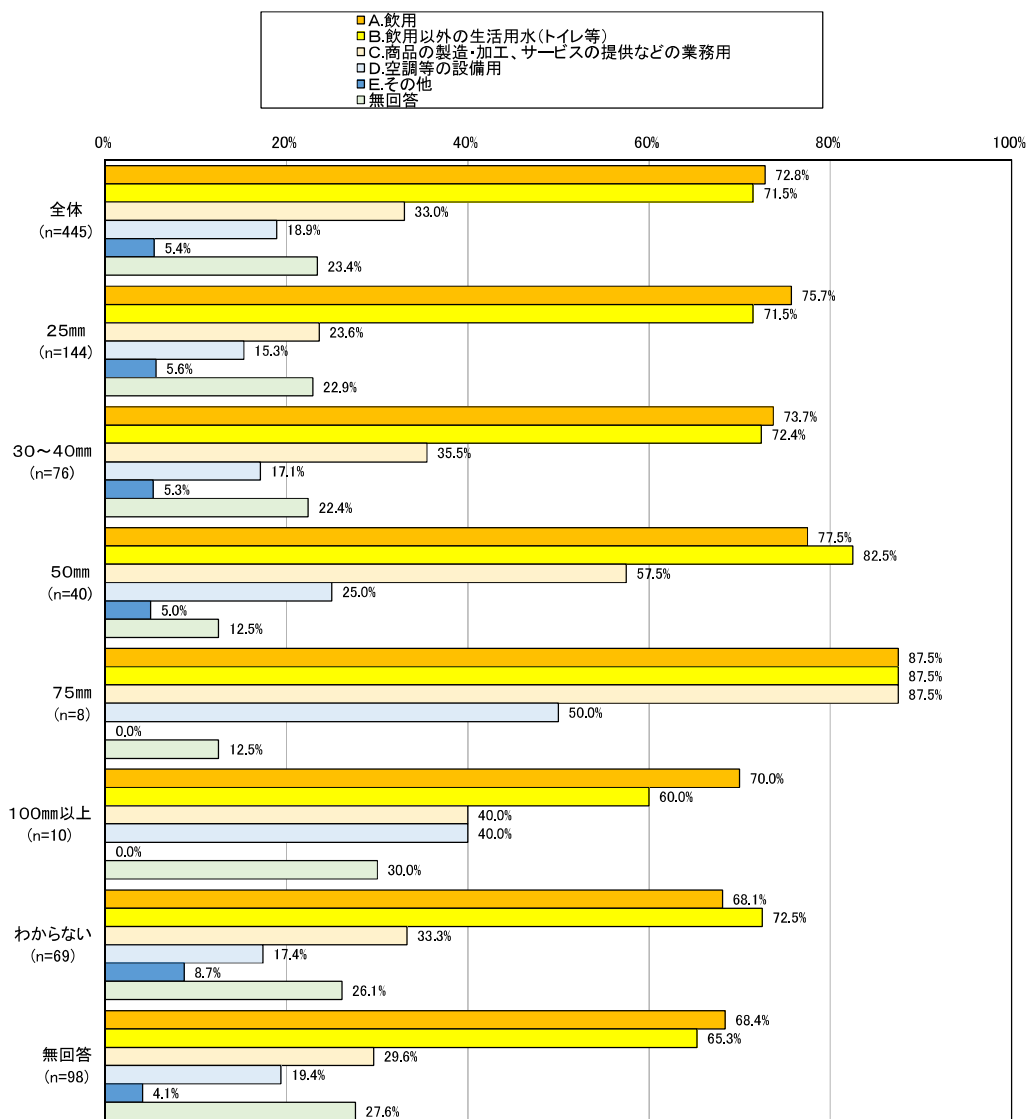
水道水の用途については全体を通して「飲用」が最も多く、次いで「飲用以外の生活用水（トイレ等）」の利用が多かった。

「空調等の設備用」が26.7%と他の区より多い江南区では、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」の利用率も60.0%と高く、総じて他の区と比べ、水道水の利用率が高いことが分かる。

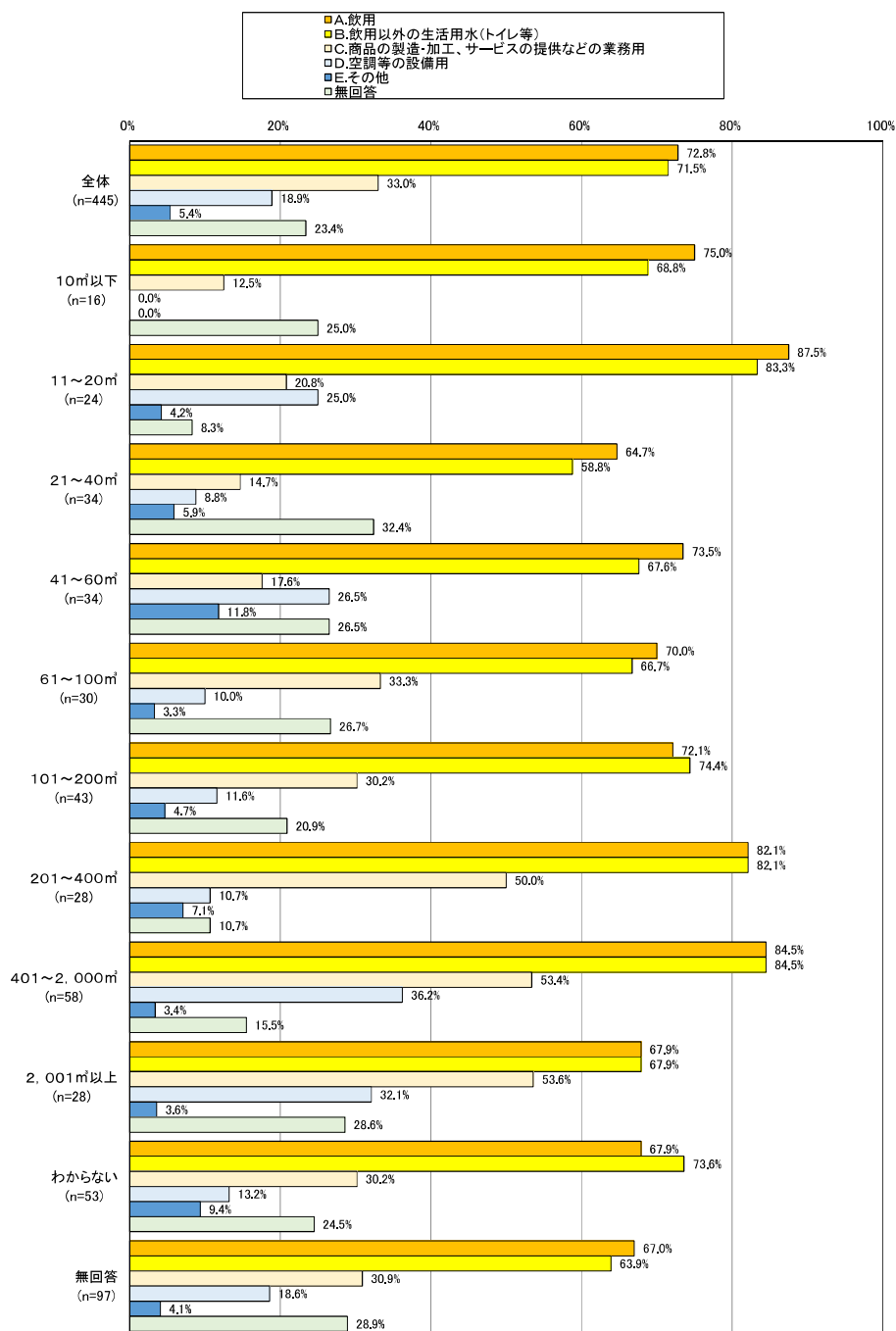
全体の用途として最も多かった「飲用」だが、中央区では66.9%と少ない傾向にあり、飲用に水道水以外も利用していることを示している。



水道水の用途を業種別にみると、「飲用」、「飲用以外の生活用水（トイレ等）」が多いのは他と同じだが、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」の項目では製造業が62.0%、次いで飲食店・宿泊業が60.0%と利用が多い傾向であることが分かる。



水道水の用途を口径別にみると、75mmを利用している事業所では「飲用」、「飲用以外の生活用水（トイレ等）」、「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」が80%を超えるなど他口径より利用率が高く、水道水の利用率の高さが目立った。



水道水の用途を使用水量別にみると、使用量の最も多い2,001m³以上利用している事業所で「商品の製造・加工、サービスの提供などの業務」が36.6%、「空調等の設備用」が32.1%と他に比べ高い利用率を示していることが分かる。逆に使用量の少ない10m³以下の事業所では、用途のほとんどを「飲用」、「飲用以外の生活用水（トイレ用）」が占めていることが分かる。